

# 大阪ITプログラミング&会計専門学校天王寺校学則

## 第1章 総則

### (目 的)

第1条 本学商業実務専門課程は、学校教育法に定める専修学校制度の趣旨に則り、人格の陶冶と商業実務に関する正しい知識と的確な技能を授け、もって職業や實際生活に必要な能力を養成し教養を向上させることを目的とする。

本学工業専門課程は、学校教育法に定める専修学校制度の趣旨に則り、人格の陶冶と情報処理及びビジネスに関する正しい知識と的確な技能を授け、もって職業や實際生活に必要な能力を養成し教養を向上させることを目的とする。

### (名 称)

第2条 本学は、大阪ITプログラミング&会計専門学校天王寺校という。

### (位 置)

第3条 本学の位置を大阪府大阪市天王寺区茶白山町1番15号に置く。

### (自己点検・評価)

第4条 本学は、その教育の一層の充実を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2. 前項の点検及び評価の実施に関し、必要な事項は別に定める。

## 第2章 課程、学科及び修業年限、定員並びに休業日

### (課程、学科、修業年限、定員)

第5条 本学の課程、学科及び修業年限並びに定員は次のとおりとする。

課程名	学 科 名	修業年限	入学定員	総定員	備 考
商業実務 専門課程	会 計 学 科	2年	40名	80名	昼間部
	経理・情報研究学科	1年	60名	60名	昼間部
工業 専門課程	I T ビジネス学科	2年	60名	120名	昼間部
	情 報 管 理 学 科	2年	0名	0名	昼間部
計			160名	260名	

※情報管理学科について、令和5年度の入学生を最後に募集を停止する。

(学年、学期)

第6条 本学の学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

2. 専門課程の学期は次のとおりとする。

前期	4月1日から	9月30日まで
後期	10月1日から	3月31日まで

(休業日)

第7条 本学の休業日は次のとおりとする。ただし、校長は、特に必要があると認める場合には、休業日を変更することができる。

- (1) 土曜日、日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律で規定する日
- (3) 夏期休業 7月16日から8月31日まで
- (4) 冬期休業 12月16日から1月7日まで
- (5) 春期休業 3月16日から3月31日まで
- (6) 学園創立記念日 10月30日

2. 土曜日は原則として休日にするが、学科により授業を行う場合がある。

### 第3章 教育課程、授業時数及び教職員組織

(教育課程、授業時数)

第8条 本学の教育課程、授業時数及び必要卒業時数は別表1の通りとする。

2. 別表1に定める授業時数の1単位時間は45分とする。

(授業時数の単位数への換算)

第9条 本学の専門課程の授業科目の授業時数を単位数に換算する場合には、講義(演習も含む)20時間をもって1単位とする。

(成績評価)

第10条 授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。

(始業及び終業)

第11条 本学の始業及び終業の時刻は次のとおりとする。

専門課程は、9時30分から17時35分までとする。

(教職員組織)

第12条 本学に次の教職員を置く。

- (1) 校長 1名
- (2) 教員 10名以上
- (3) 事務職員 3名以上
- (4) 学校医 1名

2. 校長は、校務をつかさどり、所属職員を監督する。

第4章 入学、休学、退学及び卒業

(入学資格)

第13条 本学の入学資格は、次のとおりとする。

専門課程は、高等学校等を卒業した者、それと同等以上の学力があると認められた者とする。

(入学時期)

第14条 本学の入学時期は、次のとおりとする。

専門課程の入学時期は毎年4月とする。

(入学手続、許可)

第15条 本学の入学手続は、次のとおりとする。

- (1) 本学に入学しようとする者は、本学の定める入学願書に必要事項を記載して、第25条に定める入学検定料及び必要書類を添えて指定期日までに申願しなければならない。
- (2) 前号の手続を終了した者に対して書類選考を行い、入学者を決定する。
- (3) 本学に入学を許可された者は、入学許可の日から指定期日以内に第25条に定める入学金を添え手続をとらなければならない。

(転入学、学科変更)

第16条 本校への転入学を希望する者がある場合は、学習の進展が同程度であり、かつやむを得ない事情があると認められた場合には、選考の上許可することができる。

2. 本校の生徒であって、学科変更を希望する者は、選考の上相当年次への変更を許可することができる。

(休学、復学)

第17条 学生が疾病、その他やむを得ない事由によって、1か月以上休学する場合は、診断書及びその事由を記し、校長の許可を受けなければならない。

2. 前項の者が復学しようとする場合は、校長の許可を受けなければならない。

(退 学)

第18条 退学しようとする者は、その事由を記載し、校長の許可を受けなければならない。

(転 科)

第19条 既に履修した科目が他の学科の授業科目と共通である者が他の学科への転科を希望する場合は、転科試験を行い、転科を認める場合がある。

(課程修了の認定)

第20条 第10条に定める授業科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の認定を行う。

2. 所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、別表3のとおり卒業証書を授与する。

(称号の付与)

第21条 次の課程を修了した者には、平成6年文部省告示第84号による専門士の称号を付与する。

商業実務専門課程 会 計 学 科

工業専門課程 I Tビジネス学科

工業専門課程 情報管理学科

## 第5章 科目等履修生

(科目等履修生)

第22条 本学において開設する授業科目に対し、本学学生以外の者から特定の科目について履修申請があった場合には、本学の教育に支障がない限り、選考の上科目等履修生として当該科目の履修を許可することができる。

2. その他科目等履修生に関する事項は別に定める。

## 第6章 賞罰

(褒 賞)

第23条 成績優秀にして他の模範となる者には褒賞することができる。

(懲 戒)

第24条 校長は、本学の規則に違反したり、本学の学生の本分に反する行為があった場合等において、教育上必要と認められる場合には、学生に対し懲戒を加えることができる。

2. 懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。

3. 退学は次の各号に該当する場合にこれを命ずる。

(1) 性行不良で改善の見込がないと認められる者

(2) 学力劣等で成業の見込がないと認められる者

(3) 正当の理由がなくて出席が常でない者

(4) 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

## 第7章 入学金及び授業料等

(納付金)

第25条 本学の入学金、授業料等納付金は、別表2のとおりとする。

2. 本学に再入学する場合の減免については学費減免規程に定める。

(納入金の還付)

第26条 既に納入した納付金は、返還しない。ただし、次の各号に該当する場合はこの限りでない。

(1) 学生が死亡し学業が続けられなくなった場合

(2) 校長が、上記に相当する程度の特別な理由があると認めた場合

(休学中の授業料)

第27条 休学する者に対しては、休学期間中の授業料は徴収しない。

(除籍)

第28条 授業料その他の納付金を2か月以上滞納した者は除籍することができる。

## 第8章 健康診断

(健康診断)

第29条 学校保健安全法第13条の規定に基づき、健康診断を毎年1回、別に定めるところにより実施する。

## 第9章 雑則

(施行細則)

第30条 この学則の施行についての細則は、別に定める。

附則

1. この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附則

1. この学則は、平成19年4月1日から施行する。ただし、学則本文第21条の規定は平成19年3月5日から適用する。

附則

1. この学則は、平成20年4月1日から施行する。ただし、学則本文第21条の規定は平成20年3月6日から適用する。

附則

1. この学則は、平成21年2月28日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成24年2月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、令和3年4月1日から施行する。ただし、学則本文第2条の規定は令和2年度4月以前の入学者に対しては、従前の規定を適用する。

附 則

1. この学則は、令和4年4月1日から施行する。

この学則の別表3は、公示の日より施行する。（令和5年1月27日公示）

附 則

1. この学則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

1. この学則は令和7年4月1日から施行する。

ただし、令和6年度までの入学生は、従前の規定を適用する。

学校教育法改正（令和8年4月1日施行）に伴い、学則本文第13条の規定は令和8年4月より適用する。

また、在籍者の呼称を「生徒」から「学生」に改める。

令和8年度の入学生より、授業料等納付金の変更を行う。ただし、令和7年度までの入学生は、従前の規定を適用する。

## 別紙1

## 昼間部 商業実務専門課程 会計学科 [2年制]

科目区分	必修 選択	授 業 科 目	授業 形態	第 1 学 年		第 2 学 年		授業時数 合計	単位数 合計	
				授業時数	単位数	授業時数	単位数			
一般科目	必修	就職ゼミナールⅠ	講義	10	4			80	4	
			演習	70						
	選択 必修	会計実務		講義			10	2	40	2
				演習			30			
		就職ゼミナール		講義	10	2			40	2
				演習	30					
		時事研究Ⅰ		講義			10	2	40	2
				演習			30			
		O A 講座Ⅰ		講義			20	2	40	2
				演習			20			
		O A 講座Ⅱ		講義			20	2	40	2
				演習			20			
	O A 講座Ⅲ		講義			20	2	40	2	
演習					20					
プレゼンテーション技 法Ⅰ		講義			10	1	20	1		
		演習			10					
ビジネスマナー		講義			20	4	80	4		
		演習			60					
必修	必修	商業簿記Ⅰ	講義	20	4			80	4	
			演習	60						
		会計学Ⅰ	講義	20	4			80	4	
			演習	60						
	工業簿記Ⅰ	講義	20	4			80	4		
		演習	60							
	原価計算Ⅰ	講義	20	4			80	4		
		演習	60							
	商業簿記Ⅱ	講義	20	4			80	4		
		演習	60							
	商業簿記Ⅲ	講義	20	4			80	4		
		演習	60							
	会計学Ⅱ	講義	20	4		20	4	80	4	
		演習	60			60				
	会計学Ⅲ	講義	20	4		20	4	80	4	
		演習	60			60				
	工業簿記Ⅱ	講義	10	2			40	2		
		演習	30							
	工業簿記Ⅲ	講義	20	4			80	4		
演習		60								
原価計算Ⅱ	講義	10	2			40	2			
	演習	30								
原価計算Ⅲ	講義	20	4			80	4			
	演習	60								
	講義			20	4	80	4			
	演習			60						
商業簿記演習Ⅰ	演習	40	2			40	2			
会計学演習Ⅰ	演習	40	2			40	2			
工業簿記演習Ⅰ	演習	40	2			40	2			
原価計算演習Ⅰ	演習	40	2			40	2			

商業簿記応用 I	講義	20	4			80	4
	演習	60					
商業簿記応用 II	講義				4	80	4
	演習						
会計学応用 I	講義	20	4			80	4
	演習	60					
会計学応用 II	講義				4	80	4
	演習						
工業簿記応用 I	講義	20	4			80	4
	演習	60					
工業簿記応用 II	講義				4	80	4
	演習						
原価計算応用 I	講義	20	4			80	4
	演習	60					
原価計算応用 II	講義				4	80	4
	演習						
会社法 I	講義	10	2			40	2
	演習	30					
会社法 II	講義	30	4			80	4
	演習	50					
会社法 III	講義	20	4			80	4
	演習	60					
監査論 I	講義	30	4			80	4
	演習	50					
監査論 II	講義	20	2			40	2
	演習	20					
財務会計論 I	講義	10	2			40	2
	演習	30					
財務会計論 II	講義	20	6			120	6
	演習	100					
財務会計論 III	講義	30	6			120	6
	演習	90					
管理会計論 I	講義	10	2			40	2
	演習	30					
管理会計論 II	講義	20	4			80	4
	演習	60					
管理会計論 III	講義	20	4			80	4
	演習	60					
会社法 IV	講義				4	80	4
	演習						
会社法 V	講義				2	40	2
	演習						
会社法 VI	講義				4	80	4
	演習						
会社法 VII	講義				2	40	2
	演習						
監査論 III	講義				4	80	4
	演習						
監査論 IV	講義				4	80	4
	演習						



専門科目

選択必修

監 査 論 V	講義			10	2	40	2
	演習			30			
財 務 会 計 論 IV	講義			10	4	80	4
	演習			70			
財 務 会 計 論 V	講義			40	6	120	6
	演習			80			
財 務 会 計 論 VI	講義			10	2	40	2
	演習			30			
財 務 会 計 論 VII	講義			20	6	120	6
	演習			100			
財 務 会 計 論 演 習 I	演習			80	4	80	4
管 理 会 計 論 演 習 I	演習			40	2	40	2
管 理 会 計 論 IV	演習			80	4	80	4
管 理 会 計 論 V	講義			30	4	80	4
	演習			50			
管 理 会 計 論 VI	講義			10	2	40	2
	演習			30			
管 理 会 計 論 VII	講義			20	4	80	4
	演習			60			
租 税 法 I	講義			40	4	80	4
	演習			40			
經 営 学 I	講義			40	4	80	4
	演習			40			
所 得 税 法 I	講義			10	2	40	2
	演習			30			
簿 記 論 I	演習	80	4			80	4
	演習			80	4	80	4
簿 記 論 II	演習	80	4			80	4
	演習			80	4	80	4
簿 記 論 III	演習			80	4	80	4
簿 記 論 IV	演習			80	4	80	4
簿 記 論 V	演習			80	4	80	4
簿 記 論 応 用 I	演習			80	4	80	4
簿 記 論 応 用 II	演習			80	4	80	4
簿 記 論 応 用 III	演習			80	4	80	4
簿 記 論 応 用 IV	演習			80	4	80	4
簿 記 論 演 習 I	演習	40	2			40	2
	演習			40	2	40	2
簿 記 論 演 習 II	演習	40	2			40	2
	演習			40	2	40	2
簿 記 論 演 習 III	演習	40	2			40	2
	演習			40	2	40	2
簿 記 論 演 習 IV	演習	40	2			40	2
	演習			40	2	40	2
財 務 諸 表 論 I	講義	30	4			30	4
	演習	50				50	
	講義				30	4	
演習			50	50			
財 務 諸 表 論 II	講義	40	4			40	4
	演習	40				40	
	講義				40	4	
演習			40	40			
財 務 諸 表 論 III	演習			80	4	80	4
財 務 諸 表 論 IV	演習			80	4	80	4
財 務 諸 表 論 V	演習			80	4	80	4
財 務 諸 表 論 応 用 I	演習			80	4	80	4
財 務 諸 表 論 応 用 II	演習			80	4	80	4
財 務 諸 表 論 応 用 III	演習			80	4	80	4
財 務 諸 表 論 応 用 IV	演習			80	4	80	4
財 務 諸 表 論 演 習 I	演習	40	2			40	2
	演習			40	2	40	2

財務諸表論演習 II	演習	40	2			40	2
	演習			40	2	40	2
財務諸表論演習 III	演習	40	2			40	2
	演習			40	2	40	2
財務諸表論演習 IV	演習	40	2			40	2
	演習			40	2	40	2
法人税法 I	講義	20	4			20	4
	演習	60				60	
	講義			20	4	20	4
	演習			60		60	
法人税法 II	講義	20	4			20	4
	演習	60				60	
	講義			20	4	20	4
	演習			60		60	
法人税法 III	講義	20	4			80	4
	演習	60					
	講義			20	4	80	4
	演習			60			
法人税法 IV	演習			80	4	80	4
法人税法 V	演習			80	4	80	4
法人税法演習 I	演習	40	2			40	2
	演習			40	2	40	2
法人税法演習 II	演習			40	2	40	2
法人税法演習 III	演習			40	2	40	2
法人税法演習 IV	演習			40	2	40	2
法人税法演習 V	演習			40	2	40	2
法人税法演習 VI	演習			40	2	40	2
法人税法応用 I	演習			80	4	80	4
法人税法応用 II	演習			80	4	80	4
法人税法応用 III	演習			80	4	80	4
法人税法応用 IV	演習			80	4	80	4
法人税法応用 V	演習			80	4	80	4
法人税法理論演習 I	演習			80	4	80	4
法人税法理論演習 II	演習			80	4	80	4
相続税法 I	講義	20	4			20	4
	演習	60					
	講義			20	4	20	4
	演習			60			
相続税法 II	講義	20	4			20	4
	演習	60					
	講義			20	4	20	4
	演習			60			
相続税法 III	講義			20	4	80	4
	演習			60			
相続税法 IV	演習			80	4	80	4
相続税法 V	演習			80	4	80	4
相続税法 VI	演習			80	4	80	4
相続税法演習 I	演習	40	2			40	2
	演習			40	2	40	2
相続税法演習 II	演習			40	2	40	2
相続税法演習 III	演習			40	2	40	2
相続税法演習 IV	演習			40	2	40	2
相続税法演習 V	演習			40	2	40	2
相続税法応用 I	演習			80	4	80	4
相続税法応用 II	演習			80	4	80	4
相続税法応用 III	演習			80	4	80	4
相続税法応用 IV	演習			80	4	80	4
相続税法応用 V	演習			80	4	80	4
相続税法理論演習 I	演習			80	4	80	4

相続税法理論演習 II	演習			80	4	80	4	
消費税法 I	講義	40	4			40	4	
	演習	40				40		
	講義					40		40
	演習					40		40
消費税法 II	演習			80	4	80	4	
消費税法 III	演習			80	4	80	4	
消費税法 IV	演習			80	4	80	4	
消費税法 V	演習			80	4	80	4	
消費税法演習 I	演習	40	2			40	2	
	演習			40	2	40	2	
消費税法演習 II	演習			40	2	40	2	
消費税法演習 III	演習			40	2	40	2	
消費税法演習 IV	演習			40	2	40	2	
消費税法演習 V	演習			40	2	40	2	
消費税法演習 VI	演習			40	2	40	2	
消費税法応用 I	演習			80	4	80	4	
消費税法応用 II	演習			80	4	80	4	
消費税法応用 III	演習			80	4	80	4	
消費税法応用 IV	演習			80	4	80	4	
税務会計所得税 I	講義			20	2	40	2	
	演習			20				
税務会計所得税 II	講義			20	2	40	2	
	演習			20				
税務会計所得税 III	講義			20	2	40	2	
	演習			20				
税務会計消費税 I	講義			20	2	40	2	
	演習			20				
税務会計消費税 II	講義			20	2	40	2	
	演習			20				
卒業研究	演習			160	8	160	8	
必修科目授業時数		400	20	40	2	440	22	
選択科目授業時数		3,080	154	8,100	405	11,180	559	
卒業に必要な総授業時数		920	46	800	40	1,720	86	

1. 次に定める授業科目の履修等は、本校各課程の修了に必要な総授業時数の2分の1を超えない範囲で、当該課程における授業科目の履修とみなす。

科目区分	履修する専門学校	必修・ 選択の 別	履修科目	本校において履修したと みなす授業時数（単位数）
一般科目	大阪法律公務員専門学校天王寺校 文化教養専門課程 行政学科（1年制）	選択必修	社会科学概論	40時間（2単位）
		選択必修	社会科学演習	60時間（3単位）
		選択必修	人文科学概論	40時間（2単位）
		選択必修	人文科学演習	40時間（2単位）
		選択必修	自然科学概論	40時間（2単位）
		選択必修	自然科学演習	40時間（2単位）
専門科目	大阪法律公務員専門学校天王寺校	選択必修	判断推理	40時間（2単位）
		選択必修	判断推理演習	100時間（5単位）
		選択必修	数的推理	60時間（3単位）
		選択必修	数的推理演習	100時間（5単位）
		選択必修	トレーニング演習 I	20時間（1単位）
		選択必修	就職セミナー I	20時間（1単位）
		選択必修	官公庁研究	20時間（1単位）

		昼間部		工業専門課程		I Tビジネス学科 [2年制]						
科目区分	分類	必修 選択必修 選択	授 業 科 目	授 業 形 態	第一学年		第二学年		授業時数 合計	単位数 合計		
					授業時数	単位数	授業時数	単位数				
一般科目	共通	必修	就職ゼミナールⅠ	講義 演習	20 60	4			80	4		
			就職ゼミナールⅡ	講義 演習			20 60	4	80	4		
		選択必修	就職セミナー	講義 演習	5 15	1			20	1		
			企業研究	講義 演習	5 15	1			20	1		
			ビジネスマナー	講義			20		4	80	4	
				演習			60					
専門科目	共通	必修	ハードウェアⅠ	講義 演習	20 60	4			80	4		
			ソフトウェアⅠ	講義 演習	20 60	4			80	4		
			経営戦略Ⅰ	講義 演習	20 60	4			80	4		
			A群	情報システムⅠ	講義 演習	20 60	4			80	4	
				共通	ハードウェアⅡ	講義 演習	20 60	4			80	4
			ソフトウェアⅡ		講義 演習	20 60	4			80	4	
	コンピュータシステムⅠ	講義 演習	20 60		4			80	4			
	情報セキュリティマネジメント	講義 演習	20 60		4			80	4			
	総合演習Ⅰ	講義 演習	10 30		2			40	2			
	システム設計Ⅰ	講義 演習	20 60		4			80	4			
	システム開発Ⅰ	講義 演習	10 30		2			40	2			
	システム開発Ⅱ	講義 演習	10 30		2			40	2			
	TCP/IP演習Ⅰ	講義 演習	20 60		4			80	4			
	ホームページ作成	講義 演習	20 60		4			80	4			
	表計算演習	講義 演習	20 60		4			80	4			
	C言語	講義 演習	20 60		4			80	4			
	Python	講義 演習	20 60		4			80	4			
	A群	情報システムⅡ	講義 演習		20 60	4			80	4		
		科目A試験対策	講義 演習		10 30	2			40	2		
		情報管理Ⅰ	講義 演習		10 30	2			40	2		
		情報管理Ⅱ	講義 演習		10 30	2			40	2		
		オブジェクト指向基礎	講義 演習		10 30	2			40	2		
		B群	表計算プログラミング		講義 演習	20 60	4			80	4	
	共通	選択必修	ハードウェアⅢ		講義 演習				20 60	4	80	4
			ソフトウェアⅢ		講義 演習				20 60	4	80	4
			コンピュータシステムⅡ		講義 演習				20 60	4	80	4
			総合演習Ⅲ		講義 演習				10 30	2	40	2
			システム設計Ⅱ		講義 演習				20 60	4	80	4
			情報戦略Ⅰ	講義 演習				20 60	4	80	4	
			情報戦略Ⅱ	講義 演習				20 60	4	80	4	
			システム開発演習Ⅰ	講義 演習				10 30	2	40	2	
			システム開発演習Ⅱ	講義 演習				10 30	2	40	2	
			プレゼンテーション演習	講義 演習				20 60	4	80	4	
			JavaⅠ	講義 演習				20 60	4	80	4	
			JavaⅡ	講義 演習				20 60	4	80	4	
			サーバ構築演習	講義 演習				20 60	4	80	4	
			Windows基礎	講義 演習				20 60	4	80	4	
			JavaScript	講義 演習				20 60	4	80	4	
			JavaScript演習	講義 演習				20 60	4	80	4	
			情報分析演習	講義 演習				10 30	2	40	2	
			卒業システム開発	演習				160	8	160	8	
			卒業研究	演習				160	8	160	8	
			卒業制作	演習				160	8	160	8	
			A群	総合演習Ⅱ	講義 演習				10 30	2	40	2
				情報管理Ⅲ	講義				10	2	40	2
			B群		Python演習	講義			20	4	80	4
				演習				60				
	必修科目授業時数及び単位数											
	共通					320	16	80	4	400	20	
	A群					80	4	0	0	80	4	
	B群					0	0	0	0	0	0	
	選択必修科目授業時数及び単位数											
	共通					960	48	1,760	88	2,720	136	
	A群					240	12	80	4	320	16	
B群					80	4	80	4	160	8		
卒業に必要な総授業時数					920	46	800	40	1,720	86		

※1. 選択必修のうち「卒業システム開発」または「卒業研究」または「卒業制作」のいずれかを必ず選択しなければならない。

※2. 選択必修科目については、次の通りとする。

- ・情報システムコースは、共通、A群から1年次26単位以上、2年次36単位以上取得するものとする。
- ・情報処理コースは、共通、B群から1年次30単位以上、2年次36単位以上取得するものとする。

別表 2

令和7年以前入学者に対する授業料等納付金

学科 項目	昼 間 部		
	会計学科 (2年制)	情報管理学科 ITビジネス学科 (2年制)	経理・情報研究学科 (1年制)
入学検定料	推薦入学 15,000		一般入学 20,000
入学金	200,000	200,000	150,000
授業料	680,000	740,000	340,000
演習費	120,000	120,000	25,000
教材費	40,000	40,000	20,000
維持費	160,000	160,000	35,000

令和8年以降入学者に対する授業料等納付金

学科 項目	昼 間 部		
	会計学科 (2年制)	情報管理学科 ITビジネス学科 (2年制)	経理・情報研究学科 (1年制)
入学検定料	推薦入学 15,000		一般入学 20,000
入学金	200,000	200,000	200,000
授業料	680,000	740,000	340,000
演習費	100,000	100,000	50,000
教材費	100,000	100,000	50,000
維持費	200,000	200,000	100,000

証第○○○○○○○号
卒業證書
○○年○○月○○日生
右の者は本学専門課程○○○○ 学科○年の所定の課程を修めたの で卒業證書を授与し文部科学大臣 告示（平成六年文部省告示第八十 四号）により専門士（商業実務専 門課程）と称することを認める
○○年○○月○○日
学校法人立志舎
大阪ITプログラミング&会計専門学校天王寺校校長
○○○○

証第○○○○○○○号
卒業證書
○○年○○月○○日生
右の者は本学専門課程○○○○ 学科○年の所定の課程を修めたの で卒業證書を授与し文部科学大臣 告示（平成六年文部省告示第八十 四号）により専門士（工業専門 課程）と称することを認める
○○年○○月○○日
学校法人立志舎
大阪ITプログラミング&会計専門学校天王寺校校長
○○○○

經理・情報管理学科

証第○○○○○○号

卒業證書

○○○○

○○年○○月○○日生

本学専門課程

○○○○学科

年の課程を終え

たので卒業證書

を授与する

○○年○○月○○日

学校法人立志舎

大阪ITプログラミング&会計専門学校天王寺校校長

○○○○